

東京キリスト教学園 ボランティアセンター 活動報告



2012年1月26日(木)
発行：TCIボランティアセンター

■お祈りを感謝致します

みなさまのお祈りに送り出され、学園ボランティアセンターは11月から12月にかけて、石巻にて家屋修復(11/21~23)、女川、名取仮設住宅訪問(11/24~26)、仙台、石巻の仮設住宅訪問&東名の学習支援(12/20~22)、宮城県荒浜地区の家屋修復、福島県相馬市での仮設住宅訪問(12/26~29)などの活動を行いました。

■女川仮設住宅訪問

「東北の子ども達に本当のクリスマスをお届けすること」を目的とし、支援物資(マフラー)をプレゼントとして届け、子どもクリスマス会の計画を立てました。また、仮設住宅での生活はどうしても引きこもりがちになるという話で、お茶会を企画し、一軒一軒声をかけお誘いしました。多くの方が足を運んでくださり、『ふるさと』を歌いながら涙する方、人形劇を楽しんで見る方、愛のこもったプレゼントに感動される方、真剣に心を合わせ祈っていた方など、沢山の笑顔と喜ぶ顔を見ることができました。



■宮城県の荒浜での活動

宮城県亘理郡亘理町にある荒浜地区で、瓦礫撤去とトラック約1トン分の砂利を一家のお宅の床下に流し込む作業をしました。沿岸側に位置する亘理町は、20mほど歩くとすぐに海があり、この辺りでは250~300人ほどの方が犠牲になられたそうです。荒浜地区の周辺は津波で流され全壊した家が多くあり、家を改装し建て直して元の生活を取り戻していくにはまだ多くの必要があることを思わされました。

■石巻での活動

石巻市の築山という所で、家を修復する為、水に浸かった木材や壁を取り壊す作業をしました。家主さんである婦人の方とお会いする機会がありましたが、非常に喜んでくださり、震災の時の話を聞くことができました。大変な思いをされた方の話を聞くこともボランティアの一つである事を感じました。



■今後の働きについて

CRASH Japan仙台ベース主催で行われる、子ども達の心のケアのためのプログラム「オペレーション・セイフ」が、女川町の集会場にて行われています。このプログラムは全5回で完結するプログラムで、被災された子ども達の心のケアと同時に、子どもたちが楽しみながら聖書のメッセージに触れる事ができる内容のものです。月に2回、3月まで行われる予定で、学園からもこのプログラムを通して派遣する予定ですので合わせてお祈りください。

■募金報告(1月26日現在)

現時点での募金の残高は¥1,195,033となっており、当面の活動資金としては十分と思われれますので、現在募金の受付を一時中断させていただいております。皆様のお力添えに感謝致します。

■お祈りください

- ・被災された方々の心が主によって慰められ、癒され、新しい希望を持つことができるように。
- ・献金を神様の御心に従って正しく用いていくことができるように。
- ・東北での様々なニーズに対し、学園生の賜物が主のため、被災者のために用いられるように。